

事務事業名		関谷轆石線道路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																					
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																					
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分																					
	基本事業名	01 生活道路の整備		期間限定複数年度																					
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入																					
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】																					
	課長名	長岩 智徳		令和2 年度～ 令和6 年度																					
	係名	土木係	電話 0192-27-3111	※全体計画欄の総投入量を記入																					
	担当者	新沼 大輔	内線 313																						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
本路線は、立根町関谷から猪川町轆石へ立根川左岸を通る路線であるが、現況は狭隘区間が多く、すれ違いなど通行に支障をきたしていることから、地域住民の利便性向上のため道路改良を行うものである。 【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 令和2年度～令和3年度 ・用地買収、補償業務 令和3年度～令和6年度 ・工事施工(改良約600m) 令和3年度～令和6年度 事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>142,179</td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>112,122</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,698</td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>257,999</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>12</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>1,920</td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>7,680</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>265,679</td></tr> </table>		国庫支出金	142,179	都道府県支出金	0	地方債	112,122	その他	0	一般財源	3,698	事業費計(A)	257,999	正規職員従事人数	12	延べ業務時間	1,920	人件費計(B)	7,680	トータルコスト(A)+(B)	265,679
国庫支出金	142,179																								
都道府県支出金	0																								
地方債	112,122																								
その他	0																								
一般財源	3,698																								
事業費計(A)	257,999																								
正規職員従事人数	12																								
延べ業務時間	1,920																								
人件費計(B)	7,680																								
トータルコスト(A)+(B)	265,679																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動) 用地補償 工事施工	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>施工延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	施工延長	m	イ			ウ		
名称		単位											
ア	施工延長	m											
イ													
ウ													
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 用地補償 工事施工													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市道利用者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>計画総延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>キ</td><td>主たる利用者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	計画総延長	m	キ	主たる利用者数	人	ク		
名称		単位											
カ	計画総延長	m											
キ	主たる利用者数	人											
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (市道が)改良される。 利便性が向上されるとともに、安全に通行できる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>整備済み道路総延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>シ</td><td>整備率(整備総延長/計画総延長)</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	整備済み道路総延長	m	シ	整備率(整備総延長/計画総延長)	%	ス		
名称		単位											
サ	整備済み道路総延長	m											
シ	整備率(整備総延長/計画総延長)	%											
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全で快適に移動できる。													

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度							
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	43,390	31,380	36,528	30,881	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	31,900	25,600	29,922	24,700	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	3,609	74	5	10	0
	事業費計(A)		千円	0	78,899	57,054	66,455	55,591	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	0	480	480	480	480	0
		人件費計(B)	千円	0	1,920	1,920	1,920	1,920	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	80,819	58,974	68,375	57,511
⑤活動指標	ア	m	0	180	282	68	70	-	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	m	0	600	600	600	600	-	
	キ	人	0	1,487	1,487	1,487	1,487	-	
	ク								
⑦成果指標	サ	m	0	180	462	530	600	-	
	シ	%	0	30	77	88	100	-	
	ス								

事務事業ID	1802	事務事業名	関谷轆轤石線道路改良事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地域から狹隘箇所解消及び歩道整備要望があり、令和2年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 改良整備により、安全・快適に利用できることで、利便性の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この市道は、利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な車道幅員及び歩道の計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	令和6年度完了に向け、事業を推進する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和6年度に事業が完了する予定。事業効果の早期発現に向けて着実に事業を進めていく。